令和6年度 岩手県立磐井病院 医師労働時間短縮計画

計画期間

令和6年4月~令和11年3月末

対象医師

<u>産婦人科医師 (5名(B:1名)</u>

呼吸器内科医師 (1名(B:1名)

<u>小児科医師 (4名(B:1名)</u>

消化器内科医師 (8 名(B:1 名)

外科医師 (8 名 (B:3 名)

1. 労働時間と組織管理(共通記載事項)

(1)労働時間数

<u>診療科名等:産婦人科医師(5名(B:1名)</u>

年間の時間外・休日労働時間数	令和5年度実績	令和6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	768	800	
最長	1905	1860	960
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	2人 33.3%	1人 20%	
1,860 時間超の人数・割合	1人	0人	

診療科名等:呼吸器内科医師(1名(B:1名)

年間の時間外・休日労働時間数	令5年度実績	令和6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	1380	1200	
最長	1380	1200	960
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	1人 100%	1人 100%	
1,860時間超の人数・割合	0人	0人	

診療科名等:小児科医師(4名(B:1名)

年間の時間外・休日労働時間数	令和5年度実績	令和6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	744	700	
最長	1304	1200	960
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	1人 20%	1人 25%	
1,860 時間超の人数・割合	0人	0人	

診療科名等:消化器内科医師(8名(B:1名)

年間の時間外・休日労働時間数	令和5年度実績	令和6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	527	410	
最長	1068	960	960
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	1人 14.3%	1人 12.5%	
1,860 時間超の人数・割合	0人	0人	

診療科名等:外科医師(8名(B:3名)

年間の時間外・休日労働時間数	令和5年度実績	令和6年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	720	610	
最長	1331	960	960
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	1人 11.1%	3人 37.5%	
1,860 時間超の人数・割合	0人	0人	

(2)労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

令和4年度の取組実績	・勤務管理システムによる労働時間の適正管理
	・労働時間、自己研鑽の周知徹底
	・時短計画作成に向けた各医師の超過勤務時間の把握
	・勤務管理システムによる労働時間の適正管理(診療科長による時間の把握)
	、改善計画の実施
	・医師個人の超過勤務時間について勤務管理システムでは確認できるが月1回確
 令和6年度の取組目標	認するルールにはなっていないため今後ルール化していく。
〒和0千度の収組日保	・月の時間外・休日労働が 155 時間を超えた場合は、管理者・労務管理責任者か
	ら通知する体制を整えていく。
	・勤務計画においては上限時間を超えないような管理・把握が行えるようなシス
	テム改修を行っていく。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

令和4年度の取組実績	宿日直許可の取得
令和6年度の取組目標	許可基準に沿った運用とする

計画期間中の取組目標	許可基準に沿った運用とする		
------------	---------------	--	--

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

令和4年度の取組実績	診療科長が確認する
令和6年度の取組目標	勤務管理システムにて診療科長が確認する。
計画期間中の取組目標	フローを周知し適切に取り組む

【労使の話し合い、36協定の締結】

令和4年度の取組実績	36 協定を医局内に掲示、労使の話し合いの場の設定
	上記事項に取り組む
令和6年度の取組目標	36協定を超えた事案が発生した場合は適切に見直しを実施していく。
	医師からの意見を取り入れ締結内容に反映させていく。
計画期間中の取組目標	同上

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

	衛生委員会を月1回開催、年2回の健康診断の実施
	長時間労働者の把握、面接指導を実施する。
	面接指導については勤務管理システムにより時間外労働時間が月80時間を超え
令和4年度の取組実績	た時点で本人及び管理者へ警告を表示するシステムに改修予定 (R6.4月から)
	面接該当者には総務課担当者よりお知らせするよう体制を整備する。
	面接指導対象医師の直接の上司とならないよう、各診療科長に e-ラーニングの受
	講を予定する。
令和6年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

【追加的健康確保措置の実施】

	面接指導実施医師の確定、医師の働き方改革に関する委員会にて代償休職確保を	
	可能とする勤務体制の整備の検討	
令和6年度に向けた準備 	代償休息については勤務管理システムにより把握した上で翌月の勤務計画に反映	
	させる。	
令和6年度の取組目標	勤務間インターバル確保及び代償休息確保を可能とし対象医師へ面接を実施	
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む	

(3)意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績	研修会の受講
当年度の取組目標	診療科長向けの研修の受講、医師の働き方に関する委員会からの啓発
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(4)策定プロセス

院内他職種による医師の働き方改革に関する委員会にて計画、PDCAサイクルについても当委員会にて確認 していく。

計画については医局会等で説明し医局に掲示、各職種にも院内会議を通して周知

2. 労働時間短縮に向けた取組(項目ごとに任意の取組を記載

(1)タスク・シフト*/*シェア

【看護師】

計画策定時点での取組実績	・事前に取り決めたプロトコールに沿った採血
	・静脈ラインからの採血など
	・患者支援センター内での入院前説明
	・特定行為の実施
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

【薬剤科】

計画策定時点での取組実績	・病棟薬剤師による入院処方オーダ支援
	・疑義照会に基づく院外処方の修正登録
	・院外処方せんにおける疑義照会不要プロトコールの運用
	・薬剤師外来における抗がん剤、麻薬等の説明
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

【臨床検査科】

計画策定時点での取組実績	・エコー検査
	・穿刺細胞診立ち合い
	・外来採血業務
	・軽食道エコー検査における検査装置の操作
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

【診療放射線科】

計画策定時点での取組実績	・CT/MRI に係る包括指示書の運用
	・異常所見緊急連絡の運用
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	・検査オーダー等代行入力
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

【臨床工学技士】

計画策定時点での取組実績	・生命維持管理装置を装着中患者の移送・全身麻酔装置の操作
	・不整脈デバイスに関する退院前説明・遠隔モニタリング導入説明
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

【リハビリテーション科】

計画策定時点での取組実績	・リハビリテーション開始時説明
	・リハビリテーション総合実施計画書作成
	・目標設定等支援・管理シート作成
	・廃用症候群に係る評価表作成
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

(2)医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	宿日直体制の見直し(当直翌日帰りの徹底)
計画期間中の取組実績	宿日直体制の見直し、オンコール体制の見直し(研修医 60%に減少継続)
	クリニカルパスの作成等による業務の標準化

(3) その他の勤務環境改善

	Ubie の導入
	時短勤務・時差出勤・宿日直免除の継続
計画策定時点での取組実績	医師が短時間勤務等を希望した場合には活用できる環境がある。
	院内保育所の設置
	患者相談窓口の設置
計画期間中の取組実績	上記取り組みの継続

(4)副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	
計画期間中の取組実績	

[※]本項目は副業・兼業(診療応援を含む)を行う医師がいない場合には、記載不要。

(5)C一1水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化

計画策定時点での取組実績	特になし
計画期間中の取組実績	個々の医師に応じた研修目標の設定と研修計画の策定